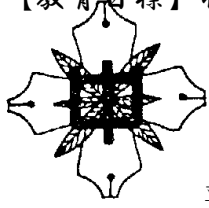


【教育目標】 将来をみつめ「学び考える力」「自他を大切にできる心」「たくましく生きる力」を育てよう



# 十中だより

平成29年 4月14日 発行 第23号

発行者:中野区立第十中学校

## 十中ラストイヤー始動

### 「十中劇場」最終幕の主役たれ！

平成29年度がスタート。

4月6日(木)、始業式で「十中ラストイヤー」をどう捉え、考え、そして行動すべきか話した。

偶然にも十中最後の年に居合わせ我々には、好むと好まざるとに関わらず十中の最後を見届け、十中の歴史の幕引きを行う責務がある。責務を果たすために何か特別なことを行う必要はない。1学年は「十中最後の入学生」、2学年は「中野東中1期生」、そして3学年は「十中最後の卒業生」の名に恥じない集団としての自覚と誇りをもち、充実した学校生活を送りながら成長を重ねればよい。

今年の十中は、現十中生、保護者、地域、そして現教職員を擁し、過去に例を見ないほどの最高の「輝き」を放つに違いない。

十中ラストイヤーは64年間におよぶ「十中劇場」の最終幕。目指すは最高のクライマックスと感動のフィナーレ。演じるは主役である十中生一人一人。

平成29年4月、「十中劇場」の最終幕は上がった。



十中劇場の主役たち

# 第64回入学式を挙行

4月7日(金)、本校最後となる第64回入学式が挙行された。  
校長式辞では徳川家康の「石合戦」の逸話を紹介した。(以下概略)

家康は駿府での人質時代、子どもたちが東軍・西軍に分かれて石を投げ合う「石合戦」を家臣と共に見物した。東軍の150人に対して、西軍は倍の300人。家臣は「大人数の西軍が勝つ」と予想するが、家康は「少人数の東軍が勝つ」と断言。結果は、家康の予想通りに少人数の東軍が勝利を収めた。

家臣から、少ない東軍の勝利を予想した理由を尋ねられた家康は、「多い方は、自分たちが勝つという慢心があり、心を一つにできていない。しかし、数が少ない方は、全員が結束して、一発必中の覚悟で石を投げる。だから、少ないほうが勝つと思った」と答えたとのこと。

新入生は38名という少人数であっても、大人数の集団に引けをとらない、強く、たくましく、優れた集団となるよう、「むごく育てる」ことをせず、十中は総力を挙げて、指導・支援に努めたい。「むごく育てる」については、山岡壮八「徳川家康」より引用)



入学式を終え安堵する担任

## 「新入生誓いのことば」

入学式での「新入生誓いのことば」を金子尚生君が担当し、力強くことばを述べた。

実は、行き違いがあって、「誓いのことば」を金子君が担当することに決定したのは入学式前日の夜7時。前代未聞の異常事態に職員室内は大混乱？に陥った。

そして、迎えた入学式本番。金子君が堂々と述べた誓いの言葉に、「最初から担当することが決まっていて、ずっと前から準備練習していたようだ」の安堵の声。

職員にも、金子君にも、決して忘れられない十中最後の入学式になった。

今日、私たち新入生38名は大きな期待と希望をもって中野区立第十中学校の門をくぐり、中学生となりました。初めて着る制服は新鮮で、中学生となった喜びで胸がいっぱいです。

しかし、その喜びの反面、これからの生活に不安もあります。先生方や先輩方とうまく接することはできるだろうか。友達と協力することはできるだろうか。十中の生徒としてこの校舎に通学するのは1年間だけで、来年は三中の校舎に移るなどの様々な不安もあります。しかし、先生方や先輩方に学び、新しい友達と助け合いながら最高の中学校生活を送りたいと思っています。

これから始まる私たちの中学校生活では、校長先生をはじめ、先生方、主事の方々、先輩方にお世話になると思います。私たちを優しく、時には厳しく見守っててください。どうぞ、私たち1年生をよろしく願いいたします。

平成29年4月7日

新入生代表 金子 尚生

## 平成29年度 学級編成一覧

| 年  | 組 | 男  | 女  | 計   | 担任               | 副担任  |
|----|---|----|----|-----|------------------|--|
| 1年 |   | 20 | 18 | 38  | ○若穂 圀 翔 (英語)     | ◎太田 圭祐 (国語)<br>山口 彩恵 (理科)<br>佐藤 瞭太 (数学)<br>神原 葵 (養護) |
| 2年 | A | 15 | 14 | 29  | 小松 原有美 (英語)      | ◎菅 亮太 (数学)<br>小貝 太郎 (音楽)<br>青野 祥人 (国語)               |
|    | B | 14 | 14 | 28  | ○中村 真紀 (体育)      |  |
|    | 計 | 29 | 28 | 57  |                  |  |
| 3年 | A | 21 | 15 | 36  | ○野上 昌志 (社会)      | ◎井上 智絵 (英語)<br>谷崎 章子 (理科)<br>山根 洋平 (技術)              |
|    | B | 20 | 16 | 36  | 露木 明 (体育)        |  |
|    | 計 | 41 | 31 | 72  |                  |  |
| 合計 |   | 90 | 77 | 167 | ◎印：学年主任 ○印：学年副主任 |  |

## 平成29年度 分掌・学年主任等一覧

|      |                |       |          |       |
|------|----------------|-------|----------|-------|
| 経営   | 校長             | 弓田 豊  | 副校長      | 辻 成一郎 |
| 校務分掌 | 教務主任           | 露木 明  | 生活指導主任   | 中村 真紀 |
|      | 学習指導主任         | 小貝 太郎 | 保健主任     | 神原 葵  |
| 学年・他 | 1学年主任          | 太田 圭祐 | 2学年主任    | 菅 亮太  |
|      | 3学年主任          | 井上 智絵 | 研究主任     | 井上 智絵 |
|      | 小中連携教育担当       | 露木 明  | 道徳人権教育担当 | 太田 圭祐 |
|      | 特別支援教育コーディネーター | 神原 葵  | いじめ相談窓口  | 中村 真紀 |
|      | 閉校事業担当主任       | 小貝 太郎 |          |       |

## 対面式行われる

4月10日(月)、恒例の対面式が行われた。

対面式は、十中生徒会への入会、各委員会や部活動の紹介など、生徒会主催で行われる生徒会行事。

毎年のように対面式のレベルアップが図られ、2・3年生の優れた発表内容や発表態度に、1年生は感心した様子で見入っていた。



「熱烈歓迎」の書道部

## 平成 29 年度 教職員の異動

### <教職員の転出>

| 職名     | 氏名     | 担当 | 在職 | 転出先         | 備考   |
|--------|--------|----|----|-------------|------|
| 主任教諭   | 谷川 敦子  | 国語 | 6年 | 練馬区立三原台中学校  |      |
| 主任教諭   | 高橋 毅   | 数学 | 2年 | 中野区立中野中学校   |      |
| 主任教諭   | 針生 星児  | 技術 | 2年 | 国立市立国立第二中学校 |      |
| 教諭     | 東 真優   | 国語 | 6月 | 中野区内中学校     | 学指支  |
| 非常勤講師  | 大舘 佐知子 | 美術 | 1年 | 葛飾区立中学校     | 産育代替 |
| カウンセラー | 志賀 悠香  | 相談 | 2年 | 退職          | 病院勤務 |
| 学指支援   | 田中 結理  | 支援 | 1年 | 世田谷区立中学校    | 介助員  |

大変お世話になりました

### <教職員の転入>

| 職名    | 氏名     | 担当 | 男女 | 前任校等    | 備考 |
|-------|--------|----|----|---------|----|
| 教諭    | 青野 祥人  | 国語 | 男  | 新規採用    |    |
| 教諭    | 山根 洋平  | 技術 | 男  | 新規採用    |    |
| 主事    | 吉本 光太郎 | 再編 | 男  | 中野区立小学校 |    |
| 非常勤講師 | 岩田 有希子 | 国語 | 女  | 練馬区立中学校 |    |
| 非常勤講師 | 齊藤 優希  | 数学 | 女  | 新規採用    |    |
| 非常勤講師 | 吉田 陽子  | 美術 | 女  | 都立高等学校  |    |
| S C   | 土江 梨奈子 | 相談 | 女  | 都内公立学校  |    |

よろしく願いました

## 保護者の皆様へ

### 個人情報等の掲載について

本校では、「学校だより」「学年通信」「学級通信」「ホームページ」等を利用して学校情報を保護者や地域の皆様に発信して参ります。その際には生徒の名前、写真、作文等を掲載させていただく場合がございます。

生徒の個人情報については細心の注意を払って管理して参りますが、掲載に関して不都合や特別な事情等がある場合は前もってお申し出ください。また、「緊急連絡網」への掲載が不都合な場合もお申し出くださるようお願いいたします。

ご理解ご協力いただきますようお願いいたします。

### 「e学校ネット」への登録について

本校では学校情報配信システム「e学校ネット」を活用して、緊急情報以外にも様々な学校情報を配信して参りました。昨年度は70回を超える配信数でした。

今年度も配信を行う予定ですが、配信希望の保護者の方には改めて登録をしていただくこととなります。

登録は、すでにお渡ししました説明書を参考に各ご家庭が行うこととなります。お手数ですが、是非ご登録いただきますようお願いいたします。

なお、説明書を紛失された場合は担任、または副校長にお申し出ください。